

ホジキンリンパ腫（進行） 1st Line

A+AVD療法

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_D	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 28日間

目標: 6コース

使用薬剤:

ビンブラスチン (VLB) : (ビンブラスチン) 10mg/V

ドキシソルビシン (ADM) : (ドキシソルビシン塩酸塩注射用) 10mg/V、50mg/V

ダカルバジン (DTIC) : (ダカルバジン) 100mg/V

ブレツキシマブベドチン : (ブレツキシマブベドチン) 50mg/V

注意: 未治療のCD30陽性ホジキンリンパ腫を対象とする。

※ **Infusion reaction**に要注意。Monitor装着によるVital signsのチェックを推奨。

※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意 (血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)

腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症

※ ドキシソルビシンの心毒性に注意。(総投与量500mg/m²まで)

※ Grade2以上の末梢神経障害があらわれた場合には、ブレツキシマブベドチンの減量等の適切な処置を行う事

※ ブレツキシマブベドチンは最終濃度0.4-1.2mg/mLとなるように希釈すること(体重40kg未満や減量の場合注意)

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
ビンブラスチン (VLB)	6 mg/m ²	#VALUE!		1、15
ドキシソルビシン (ADM)	25 mg/m ²	#VALUE!		1、15
ダカルバジン (DTIC)	250 mg/m ²	#VALUE!		1、15
ブレツキシマブベドチン	1.2 mg/kg	#VALUE!		1、15

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1、15 1月1日 (月) と 1月15日 (月)

0時00分 **内服** アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) ビンブラスチン開始1時間前頃

0時45分 ① 生理食塩液 50mL + アロキシ 1V + サクシゾン 100mg
15分で点滴静注

1時00分 ② 生理食塩液 50mL + ビンブラスチン (VLB) 0.0mg
10分で点滴投与 (全開)

1時10分 ③ 生理食塩液 50mL + ドキシソルビシン (ADM) 0.0mg
10分で点滴投与 (全開)

1時20分 ④ 生理食塩液 50mL
5分で点滴投与 (全開)

1時25分 ⑤ 5%ブドウ糖液 250mL + ダカルバジン (DTIC) 0.0mg
光分解物による血管痛(激痛)予防の為、全ルート遮光し調製後速やかに投与。
2時間で点滴静注

3時25分 ⑥ 生理食塩液 50mL
5分で点滴投与 (全開)

3時30分 ⑦ 5%ブドウ糖液 100mL + ブレツキシマブベドチン 0.0mg + 注射用水 20mL
30分で点滴静注
※最終濃度0.4-1.2mg/mLに希釈(体重40kg未満や減量の場合は注意)
※体重が100kgを超える場合は100kgとして計算する

4時00分 ⑧ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

Day2~3 1月2日 (火) ~ 1月3日 (水) Day16~17 1月16日 (火) ~ 1月17日 (水)

起床後 **内服** アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

内服 デカドロン錠 4mg 2×(2) 朝・昼食後

REFERENCE

J. M. Connors, W. Jurczak, D. J. Straus, S. M. Ansell., et al. :N Engl J Med 2018;378:331-44

